

令和7年度 熊本県高等学校総合体育大会ローイング競技 実施要項 (兼インターハイ、全九州高等学校体育大会県予選)

- 1 大会名：熊本県高等学校総合体育大会ローイング競技（兼インターハイ、全九州高等学校体育大会県予選）
- 2 主 催：熊本県高等学校体育連盟・熊本県教育委員会
- 3 後 援：熊本県ローイング協会
- 4 主 管：熊本県高等学校体育連盟ローイング専門部
- 5 期 日：公式練習日 令和7年5月30日（金）
：競 技 令和7年5月31日（土）～6月1日（日）
- 6 会 場：菊池市班蛇口湖ボート場 ＊状況により熊本市江津湖ボート場に変更もあり
- 7 競技種目：男女とも 舵手つきクォドルプル・ダブルスカル・シングルスカル
- 8 競技日程：1日目予選及び敗者復活戦 2日目準決勝及び決勝
- 9 競技規定：日本ローイング協会制定「競漕規則」による。
- 10 競技方法：トーナメント方式で、予選のみ敗者復活を行う。
- 11 参加資格：
 - (1) 選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校に在籍する生徒であること。
 - (2) 選手は、本連盟加盟校の生徒で、当該競技要項により参加の資格を得たもの。
 - (3) 年齢は、平成18年4月2日以降生まれた者とする。ただし、出場回数は同一競技3回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。
 - (4) チームの編成において、全日制課程と定時制課程、通信制課程の生徒の混成を認めない。
 - (5) 広域通信制高等学校の参加にあたっては、以下のとおりとする。
 - ①広域通信制高等学校の加盟に当たっては、全国高体連が示す「広域通信制高等学校本校及び連携校等の都道府県高体連加盟への加盟について（平成26年5月20日全面改定）」を適用する。
 - ②大会の参加は原則として、熊本県高等学校体育連盟定時制、通信制総合体育大会とする。
 - ③運動部活動が教育の一環として、日常継続的に顧問教員の指導のもとに適切に行われており、活動時間帯等の運営が適切であること。
 - ④③に伴い、全日制大会参加の特例として、運動部活動が可能な学校に在籍し、かつ日常的に県内で練習等の活動が行われていること。
 - (6) 複数校合同チームについては、本連盟が定める「複数校合同チームの大会参加規程」に従う。
 - (7) 転校転籍後6カ月未満の者は参加を認めない（外国人留学生もこれに準ずる）。ただし、一家転住等のやむをえない事由による場合は、高体連会長の認可があれば、この限りではない。
 - (8) 参加選手は、あらかじめ健康診断を受け、在学する学校の校長の承認を必要とする。
 - (9) その他の事項については、全国高等学校体育連盟規定、九州高等学校体育連盟規定の参加資格に準ずる。
 - (10) 参加資格の特例
 - ア 上記(1)・(2)に定める生徒以外で、当該競技実施要項により大会参加資格を満たすと判断されかつ、県高体連が承認した生徒を、「大会参加資格の別途に定める規定」に従い、大会参加を認める。
 - イ 上記(3)のただし書きについては、学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の出場は、同一競技3回限りとする。
- 12 参加制限：舵手つきクォドルプルは監督1名、選手7名。ダブルスカルは監督1名、選手3名。
シングルスカルは監督1名、選手1名とする。

13 引率・監督：

- (1) 引率責任者は当該校の教員とする。また、校長から引率を委嘱された「部活動指導員」（学校教育法施行規則第78条の2に示された者）も可とする。但し、「部活動指導員」に引率を委嘱する校長は、高体連会長に事前に届け出る。
- (2) 監督、コーチ等は校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は、スポーツ安全保険（傷害、賠償責任保険等）に必ず加入することを条件とする。

14 個人情報及び肖像権の取り扱い：

本大会の参加申込書等によって取得した個人情報の取扱いについては「熊本県高等学校体育連盟個人情報保護方針」に基づき取り扱う。

また、本大会における競技者及び指導者並びにその他の関係者の肖像の取扱いについては「熊本県高等学校体育連盟肖像権の取扱規程」に基づき取り扱う。

なお、参加申込書の提出をもって、これらの取扱いに関して参加者生徒及びその保護者の承諾を得たものとして対応する。

15 参加申込：①出漕申込書（1部）②参加生徒一覧（1部）

令和7年5月8日（木）17時 *必着（厳守）

〒862-0971 熊本市中央区大江2丁目5番1号 熊本学園大学附属高等学校 内藤竜一 宛

16 参加料：

- (1) 参加料は、加盟校は500円×エントリー人数、非加盟校は1000円×エントリー人数。
- (2) 納入方法は、学校ごとにとりまとめ、大会当日、受付と同時に納入すること。

17 表彰：

- (1) 団体・個人とも3位までを表彰する。

18 諸会議日程：令和7年5月13日（火）15時00分より、熊本学園大学附属高等学校応接室にて専門委員及び監督合同会議で予選の抽選を行う。*各参加校の代表1名は監督会議に参加すること。

19 感染症拡大防止について

- (1) 以下のことを踏まえ、大会での対応等に特別な変更がある場合には、専門部から参加校へ別途連絡する。
 - ア 文部科学省及び熊本県教育委員会の通知等
 - イ 当該競技中央団体等のガイドライン等
 - ウ 開催地域の感染状況
- (2) 各学校は、大会前及び大会期間中の大会参加者（関係職員、関係生徒等）の健康観察を行うなどし、体調管理に努めること

20 その他連絡事項：

- (1) 自艇参加とする。もし、借艇を希望する場合は申し込み時に申し出ること。
ユニフォームの見えやすいところに、県名及び学校名が入っていること。
- (2) なお、参加選手は最低50m以上泳げる者とする。
(泳力A=250m以上、B=100m以上、C=50m以上)
- (3) プログラムは無料配布とし、広告は掲載しない。
- (4) 参加選手は、熊本県スポーツ災害見舞金またはスポーツ傷害保険に加入していることが望ましい。
- (5) 競技中に生じた疾病、傷害は主催者（主管専門部）で応急手当等を行う。
- (6) この大会において、上位2校が九州選抜大会出場権を獲得する。
ただし、各種目上位2校が同一校の場合、シングルスカルを除き同一校の出場が認められないため次位のクルーが出場権を得る。
- (7) その他必要事項については組合せ時に決定します。